

## 日向入郷医療圏地域医療構想調整会議

- 1 開催日時 平成30年3月26日(月) 19時00分から21時00分
- 2 開催場所 日向保健所2階多目的ホール
- 3 出席者 (委員) 渡邊康久、千代反田晋、鮫島貴、田村俊二、猿川隆文、黒木雅代、金丸吉昌、川邊一孔、林克裕、和田徹也、水野重信、那須秀徳、甲斐光治、中田広喜、小林英明、松岡正社、猪倉裕永  
(事務局) 日向保健所 古家所長、野海次長、藤崎総務課長、大野主事  
(その他) 日向市、大塚事務長

### 4 議 事

#### (1) 報告

- ①第1回医療専門部会の開催について
- ②地域医療に関するアンケートの実施について

#### (2) 新公立病院改革プランについて

- ①日向市立東郷病院
- ②椎葉村国民健康保険病院
- ③美郷町国民健康保険西郷病院

#### (3) 公的医療機関等2025プランについて

- ①宮崎県済生会日向病院

#### (4) 千代田病院の病床の機能転換について

#### (5) その他

### 5 会議経過及び主な意見等

#### (1) 報告

- ・ 事務局から、第1回医療専門部会の開催について、地域医療に関するアンケートの実施について、説明があった。

#### (2) 新公立病院改革プランについて

- ・ 日向市立東郷病院、椎葉村国民健康保険病院、美郷町国民健康保険西郷病院からそれぞれ説明があり、承認された。

#### 【主な意見等】

##### ①日向市立東郷病院

【委員】 経営の改革については、民間委託など、そのようなことで考えて良いか。

【説明者】 具体的な案まではないが、方法としては民間委託や指定管理者制度などもあり得る。多角的な面から考える必要がある。

##### ②椎葉村国民健康保険病院

【委員】 消防の常備化について確認したい。全国27箇所が未整備で、そのうちの4

箇所が宮崎県になっている。救急システムに対するイメージはどのように考えるか。個人的には全部の市町村に対して支援するように国の政策と措置をお願いしたいと思っている。

[説明者] 消防の常備化については、3町村で考えているが、なかなか前に進んでいない。先進地の視察を行っている状況で具体的にはこれから。椎葉は、ドクターヘリ頼みで、それを利用して大きな病院に運んでいる。天候が悪い時や夜間は、ヘリが飛ばないので1時間以上2時間ほどかけて陸送をしている。

椎葉は集落が点在しており、国保病院に連れてくるのに時間がかかってしまう。地域密着型として、各集落の住民に患者を運ぶ運転手とて協力してもらう体制を構築し、中継をするなり近くまで運べる体制をつくりたい。消防の常備化の動きが速くすすめば、こういったことも改善されると思われる。

### ③美郷町国民健康保険西郷病院

特になし。

#### (3) 公的医療機関等2025プランについて

宮崎県済生会日向病院から説明があり、質疑等はなく、承認された。

#### (4) 千代田病院の病床の機能転換について

事務局から説明があり、承認された。

#### (5) その他

### 【主な意見等】

[事務局] 今回のような調整会議は総論であり、その中に救急や小児医療など各論がある。DNRで家族としては医療が必要無いと考えている場合でも遠く離れた家族は救急で運んでくれ、という意識のずれがあったりもする。そのような各論についても話したい、ということであれば、医療薬務課に要望としてはあげられる。

[委員] 基金を使う話になった時に、病床の転換だけではなく、救急は足りないから救急の充実のために使いたい、ということも可能と聞いている。日向は3病院に助けてもらっているが、今後より充実させるにはどうしたら良いかということも話していければと思う。

[委員] うちの病院も場合によっては、療養型や包括ケア病床に変えたり、という話が出てくると思うが、そのような時にはこの調整会議に話をもってくると考えて良いか。

[事務局] そのように考えて良い。

以上